田代時報

8月号

発行所　田代町公民館
電話19番
発行責任者　小川兵一
編集責任者　久保幸雄
鹿屋市共栄町
新生社印刷所　電2238

（夏山手入れ）と森林害虫の防ぎ方はこのようにして

夏山手入れ運動は緑化運動の一環として造林地、成林地の下刈手入れ及び手入れ間伐月間として六月より十月までを県緑化推進委員会が中心となり各関係団体の協力を得てその実施に当ることになつています。

六月から十月までの強調月間は次のように定められ下刈手入れ強調月間は六月より七月まで、手入れ間伐は九月より十月までとされ下刈手入れは年二回実施するものとし、民有林においては補助造林地昭和三十年より三十五年度まで植林された造林地とされています。

手入れ間伐は強調月間中針葉樹広葉樹の成林地を対象としてそれの枝打ち蔓切等を実施することになつていますが。夏山は犬も入らぬとか言われていますが、樹木の成長盛んな時期に樹木の成長を阻害する雑草竹を刈払撫滅することが経済林を仕立ることであり林業は長年月を要する事業で施肥林業短伐期造林を進んで取り入れられるようになり、造林は適期に下刈することもその一つと言われます。

県緑化推進委員会各関係団体の後援によつて期間中夏山手入れを実施された方々に宝くじ券を発行し林業家の労をねぎらうことになつていますので早目に森林組合に届け出て下さい。

次に夏期に入り数多くの森林害虫の慢延が予想されますが特にスギアカダニの被害が目立ちアカダニの成

八月は町民税、県民税の納期です

田代町の子供会の皆さんお元気ですか

柴立子供会の記事を見て

感心しました！

尼崎市　清藤　清

暑さ厳しい折から、子供会の皆様には、お元気で、学習に、お手伝いに毎日お励みのことや、皆さん達のいろいろなお察しいたしまして、お便りを差し上げる方面へ見学に行かれたんで読んでおります。そして皆さんの御父兄方の善行奉仕活動ぶりを知って、たいへんたのもしく思っております。

去る三月末には、親子お揃いで、皆と一諸に、鹿屋方面へ見学に行かれたんですね。さぞかし、おたのしみだったことでしょう。又五月の節句には、よい日本人になるようにと、みんな連れだって、若宮神社や、明昭寺へ祈願なさったんですね。今の乱れたわがまゝの世の中に、皆さんが心を、しかれておめでとうございます。皆さんも肩身が、広く、何か偉くなったような気持がしませんか。私も今年の四月から、公民館にお、お元気ですね。美味しいおだんごやすね。美味しいおだんごや、冷しソーメンもいただかれることでしょう。いくらは暑いからといつても、長時間の水泳や、寝冷えなどしないように気をつけて、元気ですごして下さい。

よい子供会の育成指導に、日夜御尽力くださる西氏や、御理解深き御父兄方の御健康と御多幸を祈念致し、併せて子供会の発展を願いつゝ拙筆をおさめます。

楽しかった合宿生活

!!明るい社会建設講習会、反省録から!!

次の記事は、去る七月二十四日より七月二十六日まで田代小学校講堂において開催されました「明るい社会建設講習会」参加者の感想文であります

東京より、西田栄三郎先生、中山貞雄先生、五十嵐四郎先生、の三講師を来ていたゞき、講習生の六十余名は、非常な感銘を受けて希望に胸をふくらませて自宅へ帰りました。

西大原（高校生）　川辺ムツ子　十七才

私はまず開講式に当たって、何か俗世間からはなれた神秘的な感じを受けました。その初めの心持をうらぎることなく、天地の神を信じて、自分の境遇に満足して、求めの生活ではなく、献げの生活を送らねばならない事をさとりました。というのは、私は自分の生活環境に今まで満足したことがありませんでした・両親そろっているというだけでも幸せなのに、それを気ずかずちよつとでも自分の欲求が満たされない時などは、ありったけの力で親に反抗してきました。妹や弟などにもちよつと気に入らないことがあると、所きらわずおこりました。いわば、自己中心の生活を送ってきました。そのために、他の人達が不愉快な思いをするのを知っていながら、それを改めようともせず暮してきたのです。いゝえ、改めようとは幾度思ったことかでも実行力が伴わなかつたのです。これだけ弱い人間だったのでしょう。でもこの講座を受けてからいつまでも弱い人間でおつてはならぬことを、身にしみて感じました。これからは、いゝたいことも半分におさえ、できるなら少しも反抗しないようにと、思っています。献げの生活を中心にして、求めの生活をしたゞこれから実行したいことは、親や兄弟に反抗しないこと、と、朝のあいさつをするということに努めたいと思います。

表木（婦人会長）　古里タエ子　三十三才

昨年より本年はいこうと思っていた。今年はまた部落の責任者として、なお強く引きつけられたのかも知れない。たゞ忙しい事ばかりで仕事に追い回されて、人間の抜けがらが真黒になつて、働いている事に気づき何か身につけたかつたからです。一ケ月前から参加するために、計画的に一生懸命に働いた。主人や子ども達のために保存食も作った。色々と世話がやけてくるのを一歩ふみ出して参加した。一日目には中年の少い事にいやみがさしてきましたが、思いきつて無邪気になつてみた。そして、三人の先生方の講話を夢中で聞いた。今まで行なつたこと、ぼうげんをはいたこと、色々心はずかしく思われてならない。私は部落内の方にも参加して話を聞いて頂きたい事を、非常に強く感じました。私達はきつとかげ口もなく、また人をのゝしらず、平和な町のできあがる事を願わずにはいられません。

写真は・講師、講習生皆んなそろつて楽しい食事のひとゝき

瀬戸口（青年）　中野光次　二十才

明るい社会建設講習会に出席さして頂き、身にしみるりつぱな講習会でありました。励ましのことば、講義、レクリエーション、感話会、あらゆる話を承り、一生忘れる事のできない講習会でありました。現代世相の中に浮ぼりしてみる事もまた社会への門出にあたり意義あることでもあると思うのであります。お互いは社会の中にある自己を認識するならばそれに報ゆる心情、いい換えるならば社会に奉仕する誠がなければならないし、郷土に生を受け共通の待続と運命の下にあるお互に対する愛情がなぜ持てないのであろうか。お互に対する関心、このお互を少しでもよくしようとする努力や奉仕が必要ではないかと思うのであります。私今後実行したい事は、自分達の町は自分達で背負って行かねばならないと思います。町の貧乏も自分達の自らの手で解決すると自覚しています。今の町の生活はどうでしょうか。今後成人が頭を切り変え、経済自立化運動に強力に促進することを覚悟しなければならないと思います。明るい人間関係を確立して親和協力のフン囲気を作上げ、実行に計画を立て自信と自覚でつらぬく事を誓います。

鶴園（中学生）　小川道興　四才

一、感じた事

1. 講習に来てよかつたと思います。
2. 毎年、講習会のある限り続けたいと思います
3. 最初の日は、まだ各班にも笑いがなかつたが、いろんな事をやつているうちに笑いがでてきた。
4. 何か一つのものを考えている時、その考えている一つの事に心が集中するようになつたように思います。

二、実行事項

1. 明魂となりて、兄弟げんかはやめます。
2. 仕事その他のことに一生具命に励みます。
3. 常に神仏を敬います。

甘藷の収量を二倍にしよう（その3）

甘藷の植付が終つて何時。過去何年か甘藷を植えても乍ら考えさせられることは「もつと早く植えておけばよかつた」と言う事である。七月になると、雨も少なく干ばつのため甘藷の植付もおそくなつてしまうもうすぐたのしいお盆でるようにと、敬神祟祖の精神を養なわれることは、まことによいことで感心の外はありません。どうか田代のよい子供会の皆さん、仲良く手をとり合つて、勉学にいそしみ、立派な町民となり、社会人となつて、世のため、人のためになるように心がけて励んでください。それがひいては親孝行となり、愛国心ともなるのです。

一つにして、よい人間になるようにと、敬神祟祖の精神を養なわれることは、まことによいことで感心の外はありません。どうか田代のよい子供会の皆さん、仲良く手をとり合つて、勉学にいそしみ、立派な町民となり、社会人となつて、世のため、人のためになるように心がけて励んでください。それがひいては親孝行となり、愛国心ともなるのです。

いつゝ拙筆をおさめます。

甘藷の管理について

植付けが終つたら三週間目頃追肥中耕をやります追肥は元肥に使つた肥料の量や、畑によつて差はあるが、普通の生育であれば硫安八キロ、加里八キロをまぜて追肥すると効果があります。チッソ肥料をあまりやり過ぎると、つるぼけするので生育を見て加げんしてやる。又土寄はあまり高くすると甘藷の収量が上らないので厚くしない様にする。

害虫防除について

カライモ虫が年々多く発生しつゝあるが、秋になると大被害を受けるので一日でも早くDDTをかける。（この虫は、BHCは効果はありません）虫の発生が多くなると三割も収量がおちるので、早急に駆除して下さい。又せつかく植えた甘藷が虫の被害で收量がへる様なことのないよう努めたいものです。

営農相談所　阿多　豊

川の魚取りに赤信号

農薬の惡用はいけません

田代巡査駐在所

最近農薬が自由に買われ自由に使用することが出来るようになりましたそれでいろいろな事故が起きたり又悪い方に使つたりする人が多いようです。

田代町内でも農薬を使用して川や溝の中の魚を取る人がいます。現在まで五人の人を取り調べています。これは法律で薬又は電気を使用して魚を取ることは禁じられていますから重い罰金に処せられます。農薬を使用して魚を取ることは絶対にやめましょう又子供が川や溝で水泳をしますから子供にも危険です。

世渡り定石

○逃れようとして逃れられるくらいなら闇に泣き、不運に亡んで行く人はないはずである。どうせ逃れられない闇ならば心の中に光をつけて、歩く外ない。光はさゝやかであつても闇の夜の友であり、力である光を絶やさぬように平生からの修養が肝要である。

○無一物でありながら何でも持つているような気持の豊かな人がある。自分には何の力もないと知りながら、無限の力に支えられているような強さを感じている人がある。朝から晩まで骨の折れるような仕事をしながら、道楽のように思い込んでいる人もある。

○世渡りはいい加減にしても、上手に立廻つても渡られる。しかし、屹度行き詰る時が来る。何事でもやるなら本気でやる。頼まれた事でもいよいよ引き受けた以上、もう自分の事である。自分の意志で自分の流儀で気のすむまで熱をこめてやる世渡りが大切である。

タバコは町内の店で買いましょう

あなたが買つたゞけわが町に金が落ちます。

昨年は159万円余りが役場に税金として納まり町の収入となりました。

「しんせい」を1日1個飲まれる人は年に1.500円余町に納める事になります。

皆んなそろつて期限内に納めましょう！